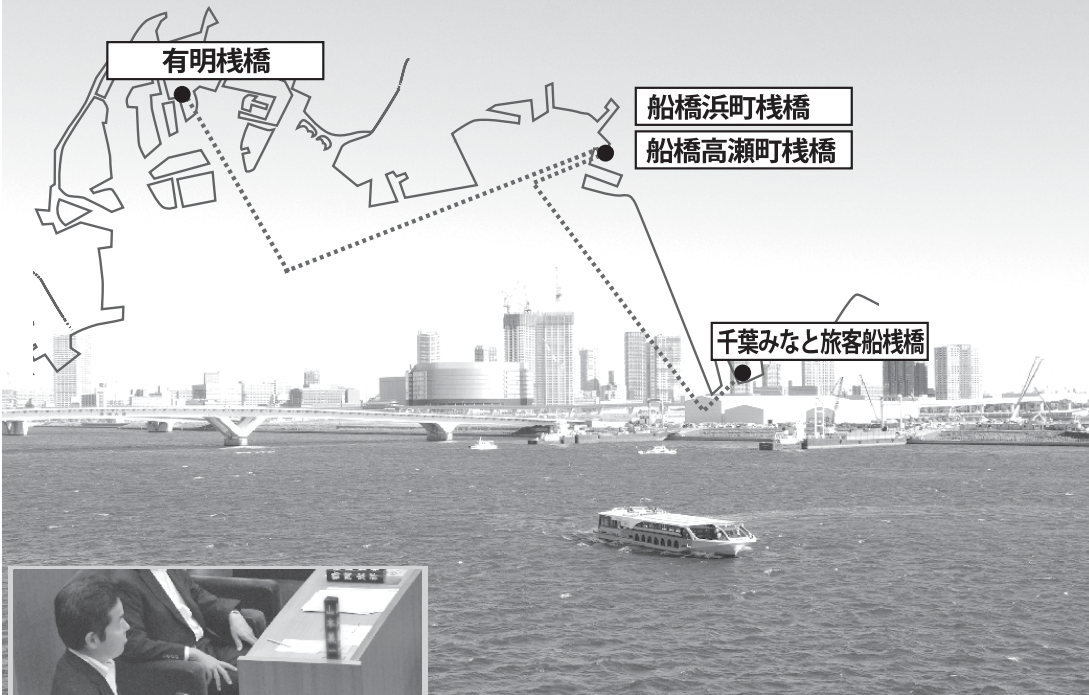


平成28年度

東京湾ツーリズム旅客船運行実証実験事業化

大型クルーザー実験運行

運行ルートイメージ



▲東京湾海上交通の千葉への航路拡大が東京湾全体の魅力アップに

新しい年が明けて、最初の議会は、平成27年度最後の補正予算と、翌28年度の当初予算を中心に審議。地方創生加速化交付金事業として、補正予算に東京湾ツーリズムの実証実験が盛り込まれました。

◆◆東京湾ツーリズム  
27年度の調査事業を経て実証実験に前進

海に囲まれた千葉の可能性を最大に引き出すために、東京湾海上交通が有効であると提言してきました。今年度、「東京湾ツーリズム実可能性調査事業」として事業化され、海上交通整備のための基礎調査や課題抽出が行われています。

それが、また一歩前進することになりました。2月定例会に提出された補正予算案の中に、「東京湾ツーリズム旅客船運航実証実験事業」として2千万円を計上。来年度中に、千葉市、船橋両市と共同で、大型クルーザーの実験航行が行われます。

県議会報告



2016  
Vol.33

民主

【Profile】町立見明川小、市立見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、富士(現みずほ)銀行に入社(16年勤務)。2007年4月千葉県議会に出馬し初当選。2011年5月再選。2015年4月3選を果たす。総合企画水道常任委員長。民主党千葉県議会議員会財務会長。民主党千葉県連組織委員長。

<http://www.yazaki-kentaro.jp>

この実験は、東京の有明桟橋から船橋・千葉を結ぶルートを1ヵ月間に渡り運行するもの。停泊場所でのイベントや観光ツアー、マリンスポーツ体験の他、航路沿岸の特徴を活かした「工場夜景クルーズ」「火花クルーズ」なども企画案としてあがっています。

東京湾ツーリズムは、観光資源の掘り起こしやそれに伴う経済活性化など、複合的な成果が期待できる施策です。しかし、観光客ばかりでなく、県民に愛されることが、事業の安定のためには欠かせません。引き続き実現に向け活動してまいります。

平成28年度当初予算案  
過去最大1兆7千億円

◆◆県債残高も過去最大

投資が必要な時

だからこそ削減も必要

2月議会には、平成28年度の予算案も提出されました。一般会計予算は1兆7139億円と、過去3年連続で予算規模最大を更新。新規の大規模事業はないものの、高齢化を背景に社会保障費が122億円上昇すると見込んでいる他、TPP発効に備えた対策費、県内で7つの競技開催が決まった東京五輪関連事業などで、予算が膨らんでいます。財源としては、昨年比407億円の増額を見込んでいる法人税・地方消費税などの税収7943億円が柱。加えて、国からの地方交付税1670億円、県債も抑えたものの1876億円を計上しています。

県債残高もマイナスに転じることはできず、過去最高3兆800億円規模になる見込み。県民ひとりあたり約50万円になります。五輪は千葉の可能性を上げる大きな機会です。それを継続的なものにするために投資が必要なのは理解できますが、だからこそ一方で徹底した無駄の削減が重要となります。引き続き厳しく精査してまいります。

# 総合企画水道 常任委員会

先の12月議会での委員会委員  
疑を抜粋でご報告します。

## ◆◆東京8号線の延伸について 実現に向け積極的 な取り組みを

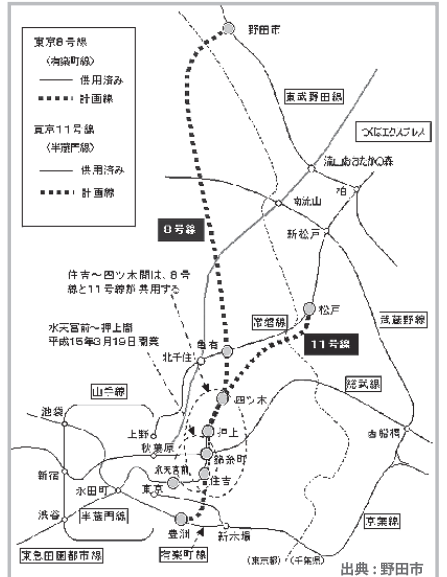
京葉線・りんかい線の相互乗り入れに積極的に取り組んできましたが、県内には他にも重要な路線の延伸計画が2つあります。

ひとつは、東京8号線（有楽町線）を豊洲から埼玉を経由し、野田まで伸ばすもの。ふたつ目は東京11号線（半蔵門線）を松戸まで延伸する計画です。いずれも平成12年に国の「運輸政策審議会（現・交通計画審議会）」で、平成27年度までに整備に着手することが適当な路線と位置付けられています。



今回、東京8号線の進捗を聞きましたが、「未だ着手に至っていない。例年国へ要望しているが、東京メトロにも支援・協力を要請している」

（交通計画課長という回答。整備が実現すれば、新たな通勤ルート確保によるラッシュ軽減など、浦安も含め県全体の交通利便性が変わります。）



## ◆◆水道管更新計画について 統合の利点を示す 共通方針が必要

今年度末で千葉県企業庁が清算されるのに伴い、工業用水課、施設設備課及び各工業用水道事務所は、水道局に移管されます。

現在水道局では、水道管の更新に伴い「長期施設整備方針」を策定中。工水も、統合後、中長期整備計画が必要となりますが、全く関連を持たせず、別個の方針が立てられる見通しです。水道施設の整備には莫大な予算が必要です。2本立ての方針では、統合のメリットが示せないことを指摘し、水道局として総合的な視点で整備方針を立てるよう提言しました。

## ◆◆男女共同参画計画の策定について 防災分野での 女性の活躍に期待



▲消防操法大会で見事な演技を見せる浦安女性消防隊

策定中の「第4次男女共同参画計画」に、基本的な課題として、「防災分野における男女共同参画の促進」が追加されました。具体的な事業内容を確認したところ、「高校生を対

▲国の交通政策審議会で整備が必要とされている路線



2016年 年頭の言葉  
矢崎けんたろうブログより

毎年元旦にブログに書いている「年頭の言葉」。今年も「石身(石を身と為す)」にしました。この言葉は昨年に引き続き、日の出公民館で習っている書道教室の文化祭出展作品として書いた漢詩の一文です。中国春秋時代の齊国の宰相晏嬰（あんい）の言葉で、「志を堅固に持ち何事にも動じない」という意味になります。晏嬰は、齊の国を建て直し、三代にわたって諸侯に齊の名声を響き渡らせた立役者といわれる名相で「晏子春秋」という書物にその教えが残されています。

その中に「一国に道有らば即ち命に順ひ、道無ければ即ち命を衡る」という一文があり、「まさに」と膝をたたきました。国に正しい政治が行われていれば命に従い、正しい政治が行われていないときはその命をよく検討し、行すべき行動をとるという解釈になります。これこそ、政治に関わる者の基本的な姿勢と言えらると思います。

政治の「正しさ」をはかるものは、市民・県民の中にあり、人の暮らしの基本である「小さな幸せを守る」という志が、私にとつての判断基準となります。今年もその志を胸に、議員としての責務を果たしてまいります。

年頭にあたり 矢崎けんたろう



県政に  
あなたの声を  
県政相談受付

Web <http://yazaki-kentaro.jp>  
Mail [info@yazaki-kentaro.jp](mailto:info@yazaki-kentaro.jp)  
Tel 047-720-0929  
Fax 047-720-0939



矢崎けんたろう事務所 〒279-0022 浦安市今川 4-2-1

アドレスや電話番号読み込み